



11月11日は「介護の日」



11月11日は、介護をより身近なものとして考え、社会全体で支えていくために、平成20年に厚生労働省が定めた「介護の日」です。

介護は決して特別なことではありません。困っている人に声をかけること。身近な人の暮らしを支えること。そして現場で働く人たちへ「ありがとう」を届けること。そんな一つ一つが支え合いの一步です。

子どもからシニアまで、誰もが安心して笑顔で暮らせる街のために、11月11日は少しだけ、私たちの街の「福祉と介護」に目を向けてみませんか？

☎ 介護福祉課 (内線2456)

知っていますか? 介護のしごと

どんなところで働くの?

自宅を訪ねて支える

「訪問介護」



訪問介護員(ホームヘルパー)が利用者の自宅を訪問し、食事や入浴、着替えなどの身体介護や、調理・掃除・洗濯・買い物などの生活援助を行います。

日帰りの通いを支える

「通所介護」



デイサービスなどに日帰りで通う利用者の送迎、食事や入浴のサポート、機能訓練やレクリエーションなどを行います。

施設での暮らしを支える

「施設介護」



特別養護老人ホームや介護老人保健施設などで暮らす利用者の食事、着替え、入浴、就寝など、24時間の生活をチームでサポートします。

どんな職種があるの?

介護職員(施設介護員)

食事、入浴、移動などの日常生活をサポートし、利用者がその人らしく生活できるよう支えます。

ケアマネジャー(介護支援専門員)

利用者や家族の相談に乗り、希望する生活や困りごとに合わせて必要な介護サービスなどを組み合わせ、「ケアプラン(計画書)」を作成します。

訪問介護員(ホームヘルパー)

利用者の自宅を訪問し、身体介護や調理・洗濯などの生活援助を行います。

生活相談員 / 支援相談員

利用者や家族の相談に応じ、施設や地域の関係機関との連絡・調整、入所・退所などの手続きを行います。

介護のしごとに資格は必要なの?

介護の仕事には、専門的な資格や研修が必要な仕事がある一方で、無資格・未経験から始められる仕事もあります。

働きながら知識や技術を身につけ、資格を取得し、できる仕事を広げていくこともできます。

「人と話すことが好き」「誰かの役に立ちたい」そんな気持ちも、介護の仕事への一歩になります。

まずは、介護の仕事を知るところから始めてみませんか?



イベントのお知らせ

福祉のしごと面談会～介護就職デイ～in石巻

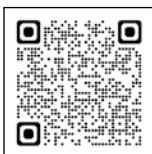
すぐ働きたい方はもちろん、「福祉の仕事に少し興味がある」「自分ができるか話だけでも聞いてみたい」という方も大歓迎!

履歴書不要・服装自由です。気軽に参加ください。

とき 11月10日(火)午後1時30分～3時

ところ ささえあいセンター3階ささえあいホール

☎ ハローワーク石巻 ☎95-0158



市ホームページ

石巻地区 介護福祉フェスティバル2026

「介護ってどんなことをするの?」「私にもできる?」

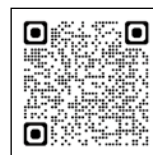
介護についての疑問や不安を解消するイベントを開催します。

家族連れでの参加も大歓迎です。気軽にお越しください。

とき 11月8日(日)午前10時～午後2時30分

ところ 矢本西市民センター(東松島市小松字向田198番地1)

☎ 実行委員会事務局(特別養護老人ホーム矢本華の園) ☎82-1165



市ホームページ

ミライにつながる! 介護のしごと



インタビュー 介護のしごとの「今」

介護は、人の暮らしを支える、地域になくてはならない仕事です。
経験を積み、学びを重ねることで、自分自身の成長や新しいキャリアにもつながります。

実際に介護の現場で働く人は、どんなきっかけでこの仕事を選び、どんなことにやりがいを感じているのでしょうか。
今回は、介護の現場で活躍する5人に、介護のしごとの「今」を聞きました。



自分の未来につながる

経験を積みながら学び続けることで専門性を高め、活躍の場を広げられます。

資格を取得してキャリアアップを目指すこともでき、学んだ知識や経験は自分や家族の将来にも生かすことができます。

仕事と家庭を両立しやすく、長く働き続けられる環境も魅力の1つ。

人を支えながら、自分自身も成長できる仕事です。

一人一人とじっくり 関わることができる

地域包括支援センターでは、介護予防教室の開催や地域活動の支援をしています。参加を通して、できることが増えたり、元気な生活を長く続けられる利用者様の姿を長い期間見届けられることが大きなやりがいです。



看護師

湊地域包括支援センター
佐々木亮さん



ケアマネジャー



セントケア石巻蛇田
小規模多機能

安達康浩さん

人を笑顔にしたい

元々、人を笑顔にすることが好きだったのでこの仕事を選びました。

悩むこともありますが、支援がうまくつながり、利用者様やご家族から「ありがとう」、「待っていたよ」と笑顔で声をかけてもらえる瞬間は、何ものにも代えられません。

誰かの人生に寄り添い、人を笑顔にできることが、この仕事の大きなやりがいです。



プライベートも充実

利用者様、一人一人に寄り添い、その人に合った接し方を考える毎日は、自分自身の成長にもつながっています。

休日は釣りやギター、料理を楽しみながらリフレッシュし、家族との時間も大切にしています。

同じ家事でも 同じじゃない

ヘルパーは、その人の暮らしの中で仕事をします。

その家、その人によってやり方はさまざま。一人一人の生活を尊重し、その人に合った関わりを大切にしています。 大景さん



「やってみたい」が 始めどき

この仕事は、何歳からでも始められると思います。タイミングは、子育てが一段落したとき、定年後などさまざま。料理や掃除など、普段の家事も立派な力になります。 神山さん

「ありがとう」が うれしい

ヘルパー歴25年となりました。利用者様の自宅に伺うので、もちろん大変なこともあります。が、「ありがとう!次もまたあなたにお願いしたい」と言ってもらえると、本当にうれしいです。

やりがいのある仕事がしたい方、ぜひ一緒に働きましょう!

渡邊さん

ホームヘルパー



石巻市
社協ホームヘルパーセンター

(左)大景美香子さん
(中)神山 三紀さん
(右)渡邊 美香さん